

衆議院外務委員会ニュース

平成 20.4.4 第 169 回国会第 5 号

4 月 4 日、第 5 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・高村外務大臣、小野寺外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

御法川 信 英君(自民)

- ・イランにおいて 2008 年 11 月に誘拐された日本人学生の安否確認状況について伺う。
- ・T I C A D の開催を控え、アフリカ外交を重視する我が国の目標はいかなるものか。
- ・チベット問題に関し、ラサに在留する邦人の保護は図られているか。

丸 谷 佳 織君(公明)

- ・タクシー運転手刺殺事件(神奈川県横須賀市)の早期解決及び再発防止に向けた取組方針を伺う。
- ・福田内閣総理大臣が外交方針として打ち出した「平和協力国家」について、具体的にどのような政策を実行するのか。
- ・国際分野での活躍が期待できる人材の需要と供給を均衡させる仕組みを構築する必要性があるのではないか。

野 田 佳 彦君(民主)

- ・イランにおいて誘拐された日本人学生の解放に向けた交渉の現状について伺う。
- ・環境保護団体「シー・シェパード」による我が国調査捕鯨への妨害活動に対する毅然とした警備体制をどのように図る方針か。

篠 原 孝君(民主)

- ・諸外国に比較して大きな負担となっている我が国の駐留経費負担を見直すべきではないか。

- ・北京五輪の開会式に皇室は御出席されるのか。
- ・中国産冷凍ギョウザ問題に対しては、我が国検査体制の一層の強化が必要ではないか。

松 原 仁君(民主)

- ・チベット問題等について、責任ある政治家が内外に明確な意思を発すべきではないか。
- ・拉致問題が解決されない限り、北朝鮮によるテロ活動は継続していると政府は認識しているか。
- ・テロ活動が継続している限り、我が国による対北朝鮮制裁措置の延長、さらには追加措置もあっていいか。

笠 井 亮君(共産)

- ・タクシー運転手刺殺事件(神奈川県横須賀市)を受けて、政府はどのような再発防止策等を米側に求めているか。
- ・脱走米兵については、日米地位協定を改定して、米側から我が国当局に通報する義務を明文化すべきではないか。

照 屋 寛 徳君(社民)

- ・ダライ・ラマ 14 世の亡命政府について、外務省はどのような関心を持ち、どのような情報収集を行っているか。
- ・チベット暴動の背景について、外務省はどのような認識を持ち、政府としてどのような対応を考えているか。

2 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第 31 号)

- ・高村外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。